

俳人協会岐阜県支部 第二十二回芭蕉の道俳句大会

事前募集句成績

令和五年五月二十七日

俳人協会賞

どの子にも美しき名や卒業す

笠井 智子（岐阜市）

岐阜県支部賞

土筆摘む屋根より高き輪中堤

黒田 佳代（海津市）

岐阜県知事賞

気負ひまだ残る八十路の春田打

福井 結佳（垂井町）

岐阜県議会議長賞

放水は空に刺さりて出初式

高田 雅章（大垣市）

岐阜県教育委員会賞

戦なき世パン屑こぼす今朝の冬

佐藤すみ子（大垣市）

岐阜市長賞

如月の水に豆腐の白さかな

田口 妙子（白川町）

岐阜市議会議長賞

三川の流れ緩みて草青む

岩田 佳子（大垣市）

岐阜市教育委員会賞

なぞなぞのいつしか寝息冬の月

野村かおり（各務原市）

岐阜観光コンベンション協会賞

待春や庭の草木の息づかひ

小嶋 歌子（本巣市）

秀逸賞

初売りの法被の袖の糊かたし

成瀬 道雄

春耕やただ一枚を守りたる

高木 孝子

シネマ出てネオンの街へ冬帽子

牧 海南美

麦を踏む背中合せに語らひて

岡田あや子

百歳の重きため息多喜二の忌

渡部 七穂

近道はぬかるみばかり探梅行

荻原八重子

吉書揚母に会ひたくなるにほひ
今生の今をさくらと息合はす
露のたう刻むはなより色失する
豆を撒く声よく揃ふ老夫婦
たんぽぽさん明日もこの空だといひね
手の甲にうつすら化粧着衣始
火の加減風の加減や初韞
記念樹の蠟梅の香や子は親に
地下に水動く気配や春立つ日
二月二十日父を迎へに母が来た
思ひ出は生きる力よ竜の玉
人日や八十億の人の星
春の灸つの字に腰を折り曲げて
ものの芽のそつと触れしがはね返す
裸木となりてつくづく日のぬくみ
A Iは性善たるべし春月夜
介護職と決めて笑顔で卒業す

山本 直子
堀 逸郎
藤田佑美子
松田 妙子
足立幸太郎
原 えつ子
安田 一義
加藤カツ子
辻 清子
原 百合子
上野みどり
木下 仁司
美谷添充子
小出ひかり
関谷 恭子
安藤 泰江
横山 稲子

当日句の部

俳人協会賞

鵜篝の消えてたちまち山気かな

加藤いつ子（多治見市）

岐阜県支部賞

一行の詩を書くやうに滝の糸

村井 田鶴（岐阜市）

岐阜県知事賞

真青なる空をひつぱる滝落つる

前川けい子（山県市）

岐阜県議会議長賞

それらしき飛沫をあげて作り滝

水上れんげ（岐阜市）

岐阜県教育委員会賞

散華めく緋牡丹一気に崩るるは

園 るみ子（岐阜市）

岐阜市長賞

上へ上へ俯瞰の気概立葵

小泉 裕子（本巣市）

兼題「滝」又は「気」

岐阜市議会議長賞

滝壺の情念深き水の色

岐阜市教育委員会賞

木隠れてゐても高らか夫婦滝

岐阜観光コンベンション協会賞

もてなしは地の一菜と作り滝

大岩 里子（多治見市）

宮本 光野（大垣市）

関谷 恭子（岐阜市）